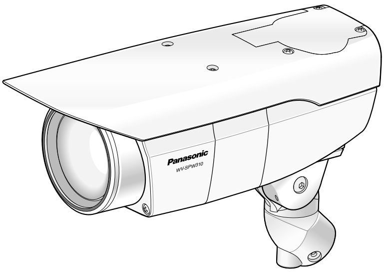
Panasonic

取扱説明書　基本編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番　WV-SPW310



もくじ

はじめに…………………… 2
安全上のご注意…………… 8
使用上のお願い……………13
設置上のお願い……………15
各部の名前…………………17

設置工事を始める前に……19
設置・接続のしかた………20
調整する……………………26
前面カバーを取り付ける…30
天井面に取り付ける………31
ネットワークの設定を行う…34

故障かな!?…………………37
仕様…………………………38
保証とアフターサービス…43

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（8～12ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本書は「日本エリア」でお使いの場合の取扱説明書です。

はじめに

商品概要

本機はネットワーク用の10BASE-T／100BASE-TX端子（ネットワーク端子）を装備した屋外に設置できる監視用カメラです。
ネットワーク端子を使い、LAN（Local Area Network）やインターネットなどのネットワークと本機の接続によって、ネットワーク上にあるパーソナルコンピューター（以下、PC）でカメラの画像を確認できます。

メモ

- PCでカメラの画像を確認する場合は、PCのネットワーク環境の設定が必要です。また、インターネット用ウェブブラウザーをインストールする必要があります。

主な機能

さらに性能を向上させたスーパーダイナミック機能搭載でダイナミックレンジ133 dBを実現

シャッタースピードの異なる画像を合成することで、照度差の大きい被写体でも、画素単位で明るさを補正し、より自然な画像で撮影可能です。
※60フレームに設定した場合はスーパーダイナミック機能はOffとなります。

高感度MOSセンサーと新ノイズリダクション機能を搭載

高感度センサーと、新方式のノイズリダクション機能（MNR：マルチプロセスノイズリダクション）※1で低照度環境下でも見やすい画像を実現します。

※1　変化の少ない部分はノイズ除去を優先し、ノイズが目立ちやすいエッジ部分は解像感を優先して処理することで、画像全体のノイズを抑えながら立体感を表現可能なノイズリダクション。

機能拡張ソフトウェアに対応

機能拡張ソフトウェア※2をインストールすることにより、画像データを使った機能を追加することができます。

※2　本機が対応している機能拡張ソフトウェアについては、パナソニックのサポートウェブサイト
（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照してください。

IP66※3、Type 4X（UL50）適合、NEMA 4X※4準拠の高い防じん性と防水性を確保

現場でのカメラ本体部の防水工事が不要です（ケーブルの接続部分は防水処理が必要です）。

※3　IP66：外来固体物に対して「耐じん形（6）」、水に対して「暴噴流（6）」の保護がなされていることを示します（IEC60529／JIS C 0920）。

※4　NEMA：National Electrical Manufacturers Association（米国)が制定している防じん・防水性能規格。

付属品をご確認ください

取扱説明書　基本編（本書）..... 1式
保証書..... 1式
CD-ROM※1 ..... 1枚
コードラベル※2 ..... 1枚
以下の付属品は取付工事に使用します。
防水テープ..... 1個
カメラ取付台 1個
取付台カバー 2個
カメラ固定用ねじ（M4×10 mm）..... 4本（うち1本は予備ねじ）
取付台カバー取付ねじ（M3×6 mm）..... 3本（うち1本は予備ねじ）
乾燥剤..... 1個
LANケーブルカバー 1個

※1　CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2　ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書　操作・設定編（CD-ROM内）の2部構成になっています。
本書では、設置のしかたとネットワークの接続・設定のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM 内の「取扱説明書　操作･設定編」をお読みください。
PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

必要なPCの環境

CPU	Intel® Core™ 2 Duo 2.4 GHz以上推奨
メモリー	Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 7の場合は1 GB以上(32ビット)、2 GB以上(64ビット) Microsoft® Windows Vista®の場合は1 GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX　1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上、 発色　：True Color 24ビット以上
対応OS	Microsoft® Windows® 8.1日本語版 Microsoft® Windows® 8 日本語版 Microsoft® Windows® 7 日本語版 Microsoft® Windows Vista® 日本語版
ウェブブラウザー	Windows® Internet Explorer® 11 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 10 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 9 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 8 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 7 32ビット日本語版
その他	CD-ROMドライブ （取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため） Adobe® Reader® （CD-ROM内のPDFファイルを閲覧するため）

重要

- 必要なPCの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、ウェブブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。
- Microsoft Windows RT、およびMicrosoft Windows 7 Starterには対応していません。
- Windows 8.1、Windows 8の場合、「クラシック UI」でご使用ください。「Modern UI design」では動作いたしません。

メモ

- Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista または、Windows Internet Explorerを使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROMのメニューより「取扱説明書」の「参照」をクリックし、「Windows®／Internet Explorer®のバージョンによる注意事項」をお読みください。
- 対応OSとブラウザーの動作検証情報については、パナソニックサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/index.html）を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、およびDirectX は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intelおよび、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
  ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
  ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
  ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※　経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

①本機を経由した情報の漏えいや流出
②悪意を持った第三者による本機の不正操作
③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

❗ 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

● 必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

❗ 煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。

● 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

⚠ 警告

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店に連絡してください。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

総質量に耐える場所に取り付ける

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

可燃性ガスの雰囲気中で使用しない

禁止

爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

⚠ 警告

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

人や物がぶつからない高さに取り付ける

落下などの事故の原因となります。

落とさない、強い衝撃を与えない

禁止

けがや火災の原因となります。

配線は電源を切ってから行う

感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

専用のカメラ取付台（付属品）を使用する

落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、専用のカメラ取付台（付属品）を使用してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

⚠ 警告

雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）

接触禁止

感電の原因となります。

除雪対策を施す

積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因になります。

●ひさしなどで防雪してください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける

締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。

落下防止対策を施す

落下によるけがの原因になります。

風が強いところに設置しない

禁止

風速 40 m/s 以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。

⚠ 警告

電源ケーブルを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる　など）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理の際は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

お手入れのときは電源を切る

けがの原因となります。

金属のエッジで手をこすらない

禁止

強くこするとけがの原因となります。

使用上のお願い

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
設置場所の放熱を良くしたり、暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

前面カバーの透明部に直接触れないでください

カバーが汚れると画質劣化の原因となります。

取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。また、前面カバーに強い衝撃や振動を与えると、故障、浸水の原因になります。

電池について

本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。

使用するPCについて

PCモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

異常検出時、自動的に再起動を行います

本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動した場合は、電源投入時と同様に約2分間操作ができません。

動作状態検出機能について

使用中、外来ノイズなどの影響により異常動作を30秒以上続けると、本機が自動的にリセット動作を行い正常な動作に復帰します。リセット動作は、電源投入時と同様の初期化動作を行いますが、頻繁に発生する場合は、本機の設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。故障の原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

本機を譲渡・廃棄される場合

本機に記録された情報内容と、本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

お手入れは

電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの清掃は

レンズクリーニングペーパー（めがねやカメラの清掃に使うもの）で行ってください。溶剤を使用する場合はアルコール類を使用し、ガラスクリーナーやシンナー系のものは使用しないでください。

画像更新速度について

画像更新速度は、ご利用のネットワーク環境、PC性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

周期的に画面がゆがむ現象が発生する場合

ネットワークカメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがあります。
これは撮像素子にMOSセンサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するもので、ネットワークカメラの異常ではありません。
設置状態の再確認を実施し、ネットワークカメラ本体の安定性を確保すると現象が軽減します。

コードラベルについて

コードラベル（付属品）は故障時の問い合わせに必要です。紛失しないようにご注意ください。お客様控えの1枚は、CD-ROMケースに貼り付けてください。

MOSセンサーについて

- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、MOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

AVC Patent Portfolio License について

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ（http://www.mpegla.com）を参照してください。

本機の識別および定格表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器の背面をお読みください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置･接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

警告　工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

設置の説明に従わず、正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

カメラの取り付け場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- カメラ本体は建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードなど強度が不十分な壁面や天井面に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲（☞38ページ）を超える場所
- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所
  （本機は車載用ではありません）

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

電源について

本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入／切できるように設置してください。

ネットワーク接続について

本機のネットワークケーブルを使ってネットワークに接続する場合は、以下の注意が必要です。

- ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。
- 回転台と組み合わせて使用することはできません。

取付ねじの締め付けについて

- ねじやボルトは、取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

落下防止対応について
落下防止ワイヤーを取り付けるときは、万一、取付台が破損しても、人に当たらない場所に取り付けてください。

取付ねじは別途ご用意ください
本機を取り付けるねじは付属されていません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

湿度に注意してください
本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまり前面カバー内が曇ることがあります。

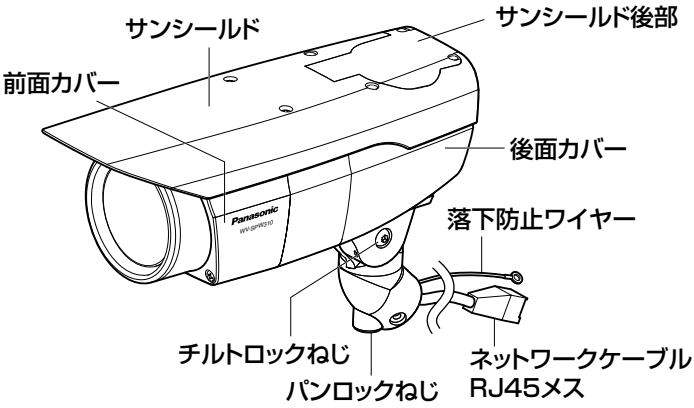
PoEによる電源供給について
PoE（IEEE802.3af準拠）対応のハブまたは給電装置を使用してください。

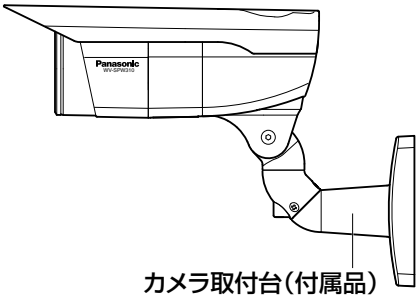
ルーターについて
本機をインターネットに接続する場合で、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。
ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。

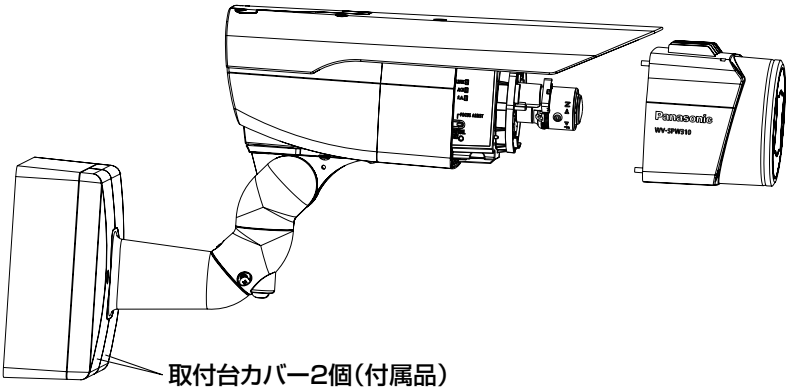
時刻設定について
本機は運用開始前に時刻設定が必要です。時刻設定については、付属CD-ROM内の「取扱説明書　操作・設定編」をお読みください。

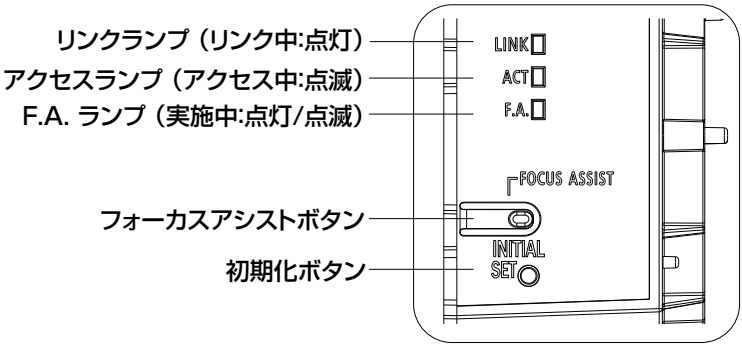
VCCIについて
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

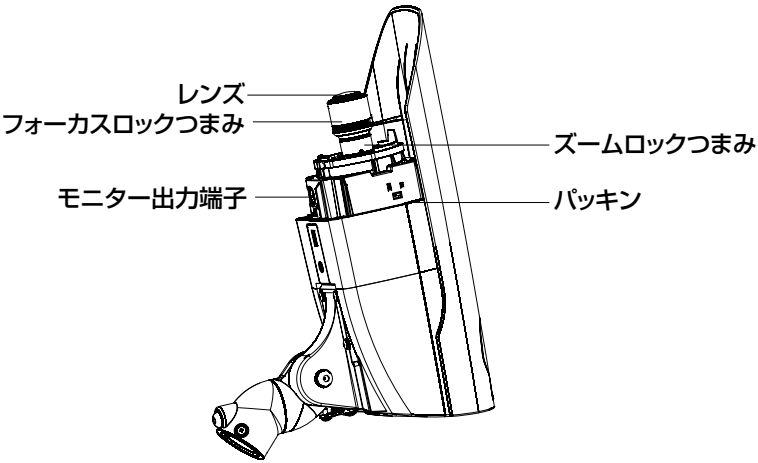
各部の名前


サンシールド
サンシールド後部
前面カバー
後面カバー
落下防止ワイヤー
Panasonic
WV-SPR310
チルトロックねじ
パンロックねじ
ネットワークケーブル
RJ45メス


Panasonic
WV-SPR310
カメラ取付台（付属品）


Panasonic
WV-SPW310
取付台カバー2個（付属品）


リンクランプ（リンク中:点灯）
アクセスランプ（アクセス中:点滅）
F.A. ランプ（実施中:点灯/点滅）
フォーカスアシストボタン
初期化ボタン
LINK
ACT
F.A.
FOCUS ASSIST
INITIAL SET


レンズ
フォーカスロックつまみ
モニター出力端子
ズームロックつまみ
パッキン

設置工事を始める前に

- 壁に設置された埋込ボックス（別途調達）や、ケーブルを通す穴があいている壁にカメラ取付台（付属品）を直接取り付けます。
- カメラ取付台（付属品）を壁に固定するねじは付属していません。取り付け場所の材質、構造、総質量を考慮してご用意ください。

重要

- カメラ取付台（付属品）とカメラ取付金具を取り付ける取付ねじは、取り付け場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじ、および、くぎは使用しないでください。
  推奨締付トルク　M4：1.57 N・m｛16 kgf・cm｝
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N｛20 kgf｝以上必要です。
- 石こうボードなど、強度が不十分な壁面や天井面に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

設置・接続のしかた

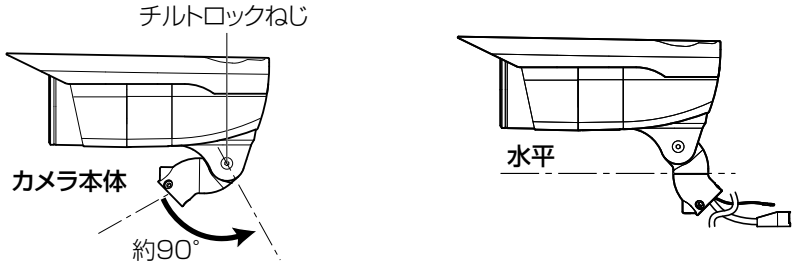
カメラ取付台（付属品）とカメラを固定する

工場出荷状態では、チルト角度が下向きに固定されています。

1 チルトロックねじを約1回転ゆるめて、チルト角度が水平になるように角度を調節します。

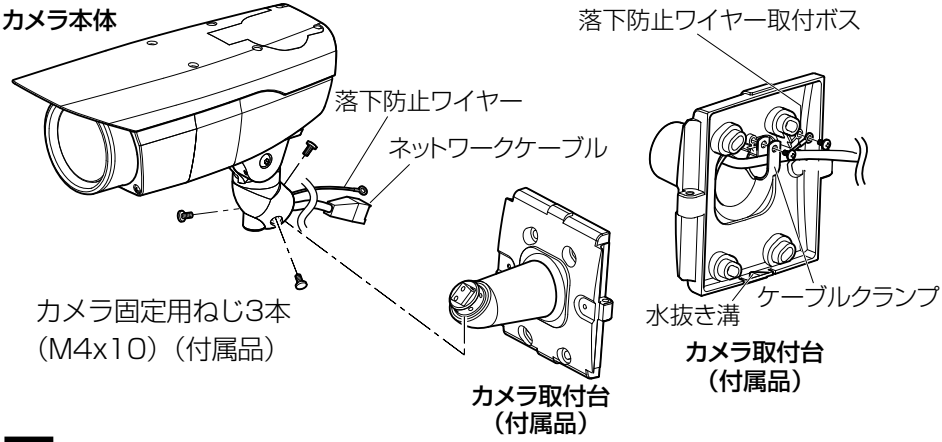
2 角度調節後は、チルトロックねじを再度締め付けて固定します。

メモ
- チルトロックねじ用の工具は、対辺4 mmの六角レンチ（別途調達）を使用してください。



3 ケーブルおよび落下防止ワイヤーをカメラ取付台（付属品）に通し、カメラ本体をカメラ取付台（付属品）に、カメラ固定用ねじ（付属品）3本で固定します。カメラ取付台（付属品）にはネットワークケーブルから通してください。

重要
- カメラ固定用ねじ（付属品）は確実に固定してください。
  推奨締付トルク：0.78N・m {8kgf・cm}



4 カメラ取付台（付属品）の落下防止ワイヤー取付ボスのねじとケーブルクランプ取付ボスのねじを取り外します。

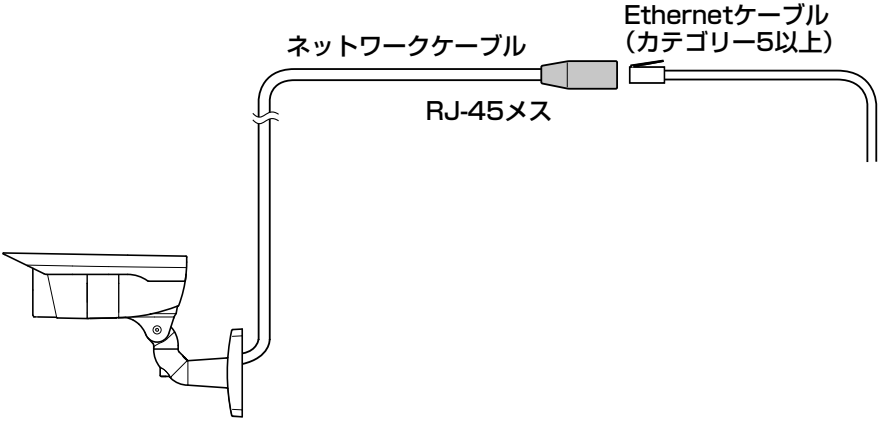
5 落下防止ワイヤーを外したねじで固定し、図のようにケーブルクランプでワイヤーとケーブルを束ねて外したねじで固定します。

重要

- 落下防止ワイヤーは確実に固定してください。
  推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}

接続のしかた

接続する前に、電源ブレーカーを切ってください。また、接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。



1 ネットワークケーブルとEthernetケーブル（カテゴリー5以上）を接続します。

2 EthernetケーブルにPoE電源供給装置を接続します。

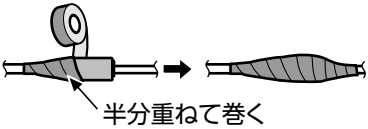
重要

- Ethernetケーブルは4対（8ピンすべて）を使用してください。
  ＜推奨ケーブル＞　パナソニック株式会社製
  エコLANケーブル4対 CAT5E　NR13533シリーズ（2014年7月現在）
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE電源供給装置は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE電源供給装置から電源が供給されない場合があります。
- ケ ーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機へネットワークケーブル接続するすぐ近くに避雷器を挿入してください。

ケーブル接合部の防水処理について

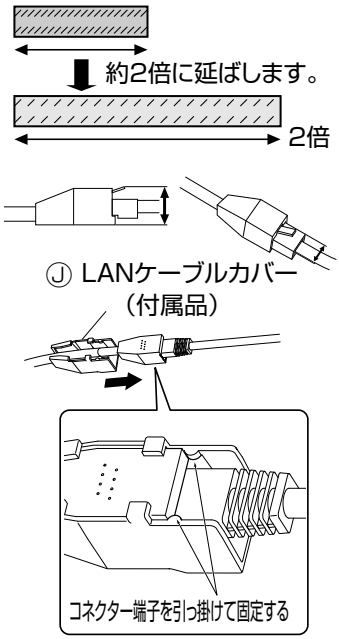
露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をしてください。
本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。

<ネットワークケーブルの防水処理方法>



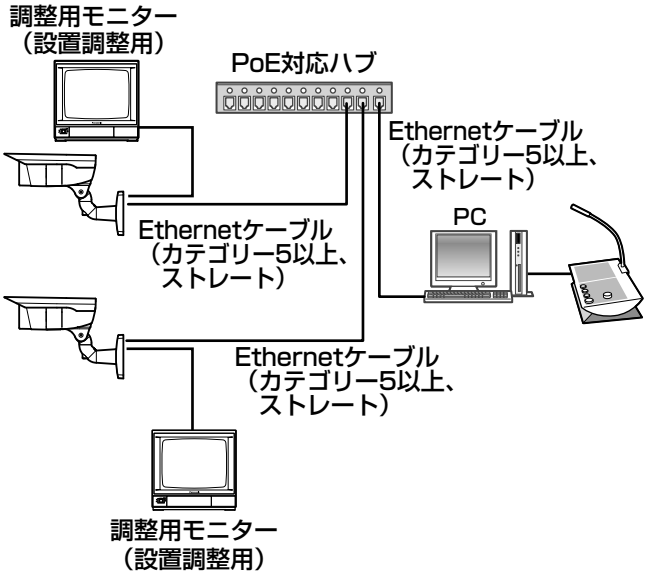
重要

- テープを約2倍の長さに引き延ばし（右図参照）、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- ネットワークケーブルのフックが外れないように、挿絵に示すように Ⓙ LANケーブルカバー（付属品）をケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクターには、以下の制限があります。
  挿入時の高さ（コネクターの底～返し部）：最大16 mm、コネクターの幅：最大14 mm
- 屋外に設置するときは接続管などでケーブルの防水処理をしてください。
  カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水（JIS IP66相当）です。
  ベース金具内部は防水対応ではありません。



工事

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する例



<必要なケーブル>

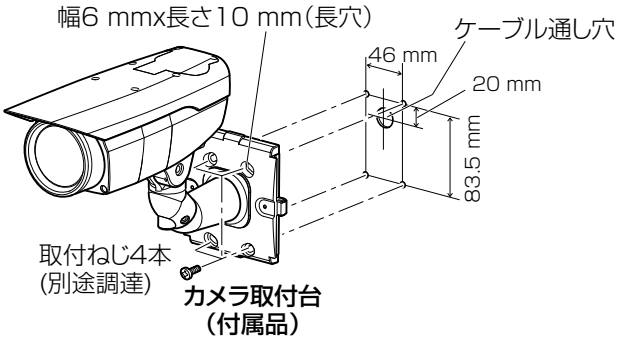
Ethernetケーブル（カテゴリー5、ストレート）
PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル（カテゴリー5、クロス）をご使用ください。

重要

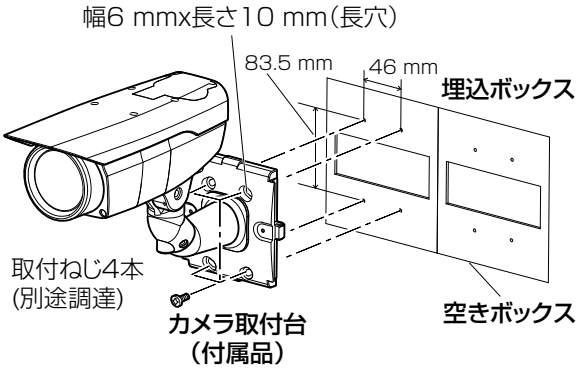
- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字（カメラIDなど）が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T／100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。

カメラ取付台（付属品）を固定する

1 準備したねじ4本でカメラ取付台（付属品）を直接壁に、または埋込ボックス（別途調達）に固定します（ねじは付属されていません）。
最低引抜強度：
196 N｛20 kgf｝／1本あたり



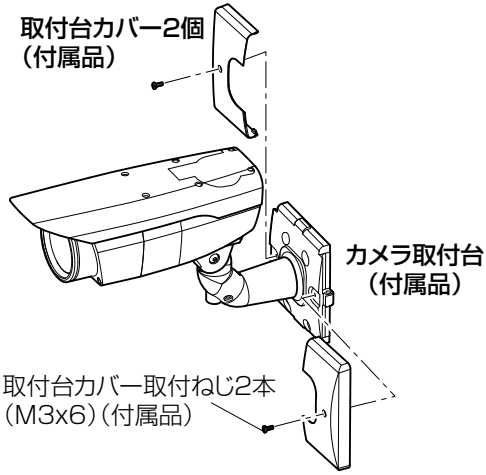
● 埋込ボックスを使用する場合は、右のイラストのように、2つを並べて使用することをお勧めします。（空きボックス側でケーブルの接続作業が容易になります。）



2 取付台カバー2個（付属品）を取付台カバー取付ねじ（付属品）2本でカメラ取付台（付属品）に固定します。

重要

● 取付台カバー取付ねじ（付属品）は確実に固定してください。
推奨締付トルク：
0.59N・m
｛6kgf・cm｝

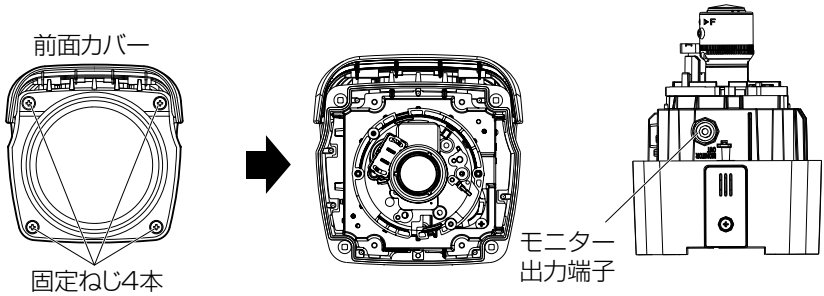


工事

調整する

1 調整用モニターの映像を見ながらカメラアングルを調節します。

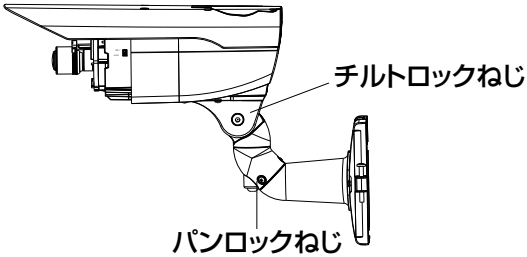
本機に電源を供給し、モニター出力端子に調整用モニター（小さな液晶モニターなど）を接続して、カメラアングルを調節してください（画角調節後は安全のため、電源を切ってください）。
①前面カバーの固定ねじ4本をゆるめて前面カバーを外します。
②モニター出力端子と調整用モニターをRCAピンケーブル（別途調達）で接続します。



＜前面＞

③以下の（1）、（2）を繰り返して、カメラアングルを調節します。
（1）パンロックねじをゆるめて水平方向にカメラヘッドを回転させ、パンの調節を行います。
（2）チルトロックねじをゆるめて垂直方向にカメラヘッドを回転させ、チルトの調節を行います。
（3）カメラアングルが決まったら、パンロックねじとチルトロックねじを締めます。

重要
- 調節後、パンロックねじとチルトロックねじは確実に締めてください。
  推奨締付トルク：2.45 N・m {25 kgf・cm}

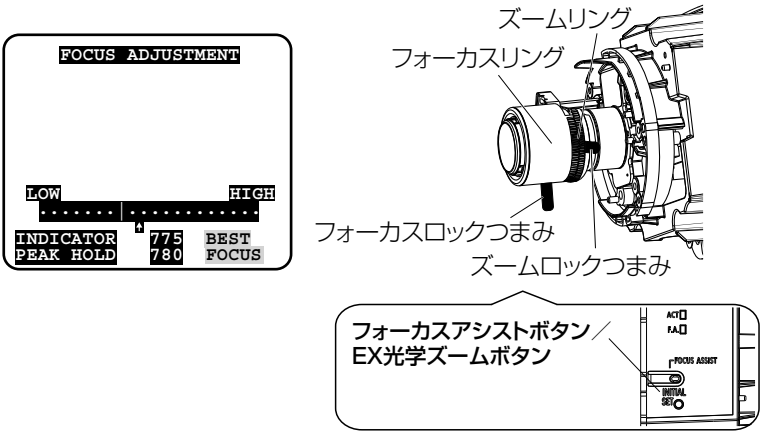


工事

メモ

- パンロックねじ、チルトロックねじ用の工具は、対辺4 mmの六角レンチ（別途調達）を使用してください。
- パンロックねじ、チルトロックねじは、約1回転で調節可能です。必要以上にゆるめないでください。
- パンロックねじ、チルトロックねじをゆるめる場合は、カメラ本体を保持した状態で行ってください。
- パン、チルト調節と同時に、画角とフォーカスの調節（☞27～29ページ）を行ってください。

2 画角とフォーカスを調整します。
被写体の距離に応じて、画角とピントを合わせることができます。画角とフォーカス調整は、カメラアングルの調整と一緒に行ってください。



① ズームロックつまみとフォーカスロックつまみをゆるめ、ズームロックつまみとフォーカスロックつまみで被写体に応じて画角（視野角）を調整します。

メモ

- ズームロックつまみをW方向（T方向）いっぱいに合わせると、フォーカスがうまく調整できない場合があります。その際は、ズームロックつまみをT方向（W方向）側へ少し戻して、フォーカスを再調整してください。

②T方向いっぱい付近で画角を調整して、さらに望遠側に画角を調整したい場合は、フォーカスアシストボタン／EX光学ズームボタンを5秒以上押し続けてください。EX光学ズームが2倍となり、VGA以下の解像度を選択している場合は、画質劣化することなくさらに2倍のズーム倍率を設定することができます。再度、フォーカスアシストボタン／EX光学ズームボタンを5秒以上押し続けると、EX光学ズームが1倍となります。
③ズームロックつまみを締め付けます。
④フォーカスアシスト（FOCUS ASSIST）ボタンを押します。
→「FOCUS ADJUSTMENT」画面が表示されます。
フォーカスアシスト機能により、最適な調整ができるようになります。
⑤ピントが合う位置の前後までフォーカスロックつまみを動かすと、自動的に最適のフォーカス位置が「PEAK HOLD」位置として記録されます（フォーカス位置が合うとき、数値はより高くなります）。
⑥フォーカスロックつまみを動かすと、現在のフォーカス状態が「INDICATOR」に数値で表示されます。「PEAK HOLD」の値に近くなるように調整します。
⑦フォーカスが合う位置に調整すると「BEST FOCUS」と反転文字が右下に表示されます。
⑧この位置でフォーカスロックつまみを、フォーカス位置がずれないように締め付けます。
⑨フォーカスアシスト（FOCUS ASSIST）ボタンを再度押すと、「FOCUS ADJUSTMENT」画面が終了します（または約3分経過すると自動的に終了します）。

重要

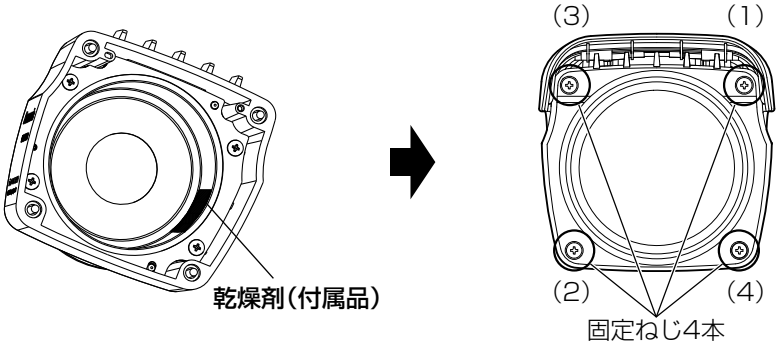
- 前面カバーを取り付けると、フォーカスが少しずれる場合があります。その際は前面カバーを取り外し、フォーカスリングをわずかにN側にずらすとフォーカスが合いやすくなります。
- 前面カバーを取り付ける前に、被写体を確認してください。

メモ

- ズームロックつまみをW方向いっぱいに合わせると、画面の四隅が暗くなる場合があります。その際は、ズームロックつまみをT方向側へ再調整してください。
- 以下のような場所あるいは被写体の場合は、再度フォーカスアシスト（FOCUS ASSIST）ボタンを押して「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了させるか、画像を見ながら最適なフォーカス位置に合わせてください。
  - ・前面カバーが汚れやすい場所
  - ・動きが多い
  - ・照度変化が大きい
  - ・低照度
  - ・極端に明るかったり反射する
  - ・窓越し
  - ・白壁など明暗が少ない
  - ・ちらつきが激しい
- ズームを調節するとき、ズームロックつまみを少しだけ締めておくと、動きが固くなり、微調整が行いやすくなります。
- フォーカスを調節するとき、フォーカスロックつまみを少しだけ締めておくと、動きが固くなり、微調整が行いやすくなります。
- 調整の途中で画角が変わってしまった場合は、フォーカスアシスト（FOCUS ASSIST）ボタンを押していったん「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了させてください（画角が変化すると「PEAK HOLD」、「INDICATOR」の数値が変化してしまうため）。
- 解像度を1280×960、1280×720に設定している場合は、EX光学ズームを2倍に設定しても、EX光学ズームの効果が得られませんので、画質が劣化します。

前面カバーを取り付ける

前面カバーの内側に、乾燥剤（付属品）を貼り付け、前面カバーを取り付けます。



重要

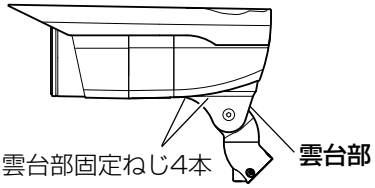
- 付属の乾燥剤を必ず貼り付けてください。乾燥剤の貼り付け方法は、乾燥剤に添付の説明書をお読みください。
- 前面カバーの固定ねじ4本の取り付けは、次の締付トルクで行ってください。推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kg・cm}
- 前面カバーの固定ねじ4本は、本ページイラストの締付順序で2回繰り返し行ってください。（（1）→（2）→（3）→（4）×2回）
- パッキンに外れやねじれなどがないことを確認してください。外れやねじれなどがある場合は、それを直して装着してください。
- パッキンにゴミ等の付着がないことを確認してください。付着がある場合は除去してください。
- 前面カバーの透明部に付いている保護シートは、設置工事完了後にはがしてください。はがしたあとは、手で直接触らないでください。

天井面に取り付ける

本機は天井面に取り付けることもできます。

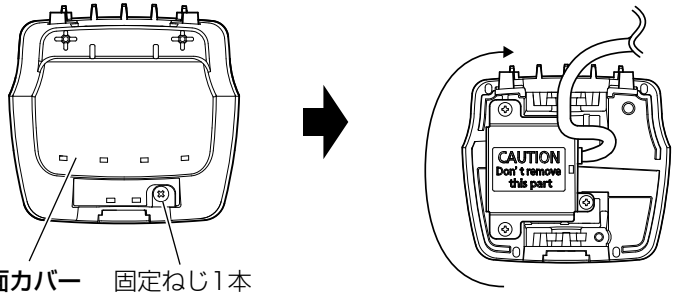
1 カメラ本体からサンシールド固定ねじ4本を外して、サンシールドを取り外します。

2 カメラ本体から雲台部固定ねじ4本を外して、雲台部を取り外します。

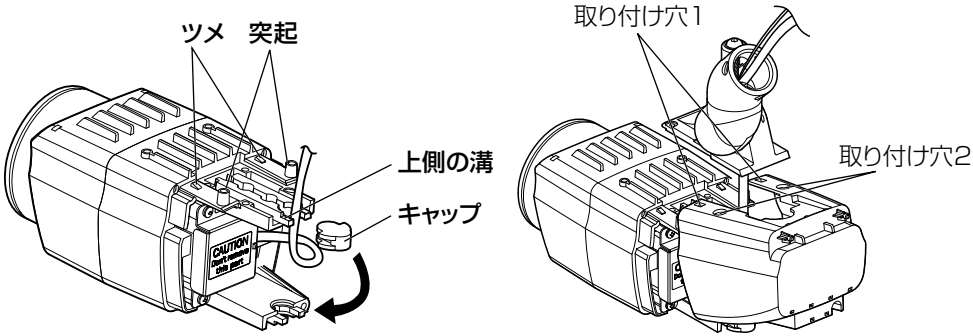


3 固定ねじ1本をゆるめて後面カバーを外し、キャップを外します。

4 ケーブルを矢印方向（時計回り）に回転させて上側の溝に入れます。
その後、キャップを下側に取り付け、後面カバーを取り付け固定ねじ1本で固定します。



● 後面カバーの取り付け穴1をカメラ本体のツメに引っ掛け、突起を取り付け穴2に通しながら取り付けます。

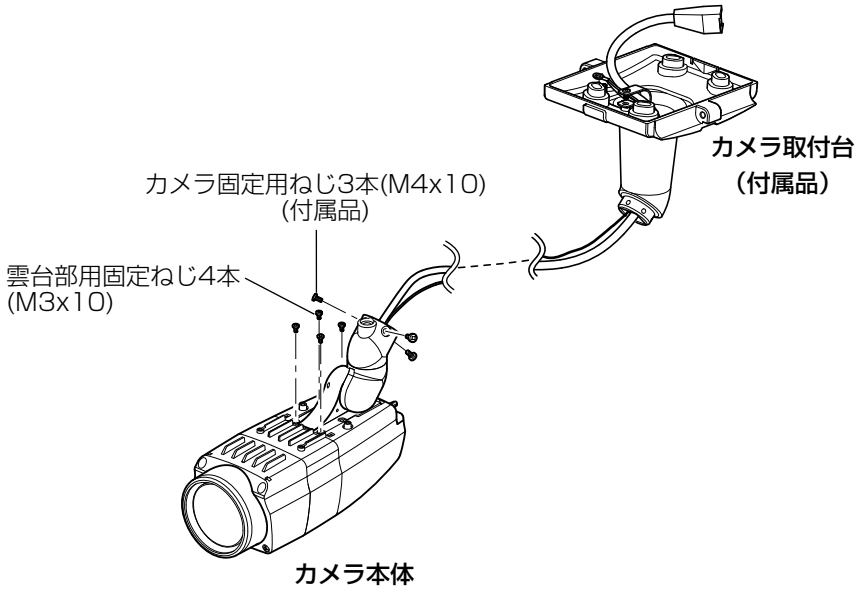


工事

5 雲台部を**2**で外した雲台部固定ねじ4本でカメラ本体の天面に取り付けます。

重要
- 雲台部取り付け時は、カメラ本体との間にケーブルを挟まないようにしてください。
- 雲台部の固定は、必ず外したねじを使用してください。
  推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}

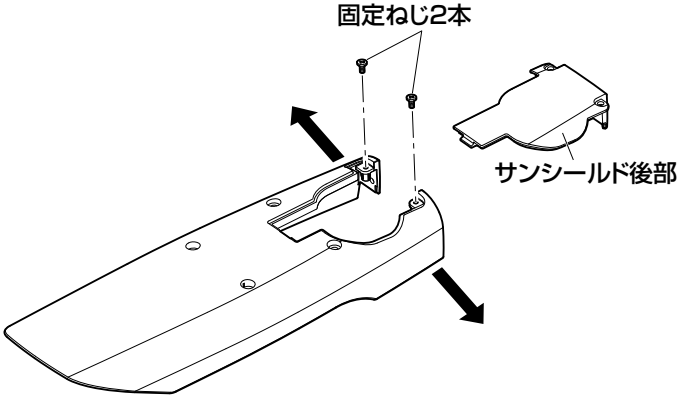
6 カメラ本体をカメラ固定用ねじ3本（付属品）でカメラ取付台（付属品）に固定します。
ケーブルと落下防止ワイヤーはカメラ取付台（付属品）を通して出し、落下防止ワイヤーを、外したねじでカメラ取付台（付属品）に固定し、ケーブルクランプでワイヤーとケーブルを束ねて外したねじでカメラ取付台（付属品）に固定します。（☞20～21ページ）



重要
- カメラ取付台（付属品）の固定は、必ず外したねじを使用してください。
  推奨締付トルク：0.78 N・m {8 kgf・cm}
- 落下防止ワイヤーの固定は、必ず外したねじを使用してください。
  推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}

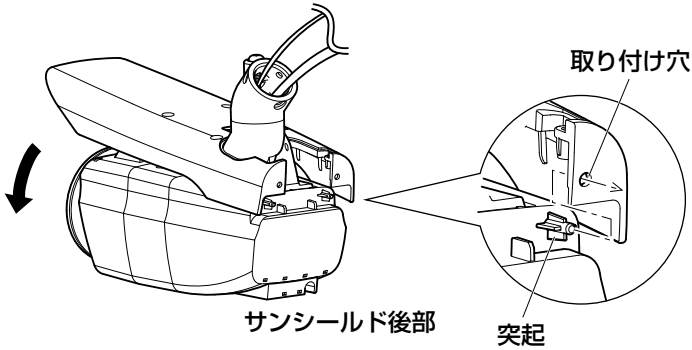
7 サンシールド後部を取り外します。
下のイラストのようにサンシールドを両方向に少し広げると取り外しやすくなります。

- 天井面に取り付けるときは、サンシールド後部と固定ねじ2本は使用しません。



8 サンシールドはサンシールド後部を取り外したあと、カメラ本体にサンシールド取付ねじ4本で取り付けます。

- サンシールドは、本体の後面カバーの突起をサンシールド後面の取り付け穴に挿入して、カメラ本体に取り付けてください。



重要

- サンシールドの固定は、必ず外したねじを使用してください。
推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}

ネットワークの設定を行う

カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

1 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。
- CDランチャーメニューが表示されます。
  CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

メモ
- CDランチャーの詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。

2 IP簡単設定ソフトウェアの［起動］をクリックします。
［Panasonic IP簡単設定ソフトウェア］画面が表示され、カメラが見つかるとカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

工事

3 設定するカメラをクリック（①）して、［カメラ画面を開く］をクリック（②）します。

メモ

- ［Panasonic IP簡単設定ソフトウェア］画面にカメラが表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。

4 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」のインストール画面が表示されたら、画面の指示に従って、インストールしてください。（カメラから表示用プラグインソフトウェアがインストールされます。）

- カメラのライブ画面が表示されます。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールできない場合や画像が表示されない場合は、CDランチャーメニューにある表示用プラグインソフトウェアの［インストール］ボタンをクリックして、インストールしてください。
- カメラを使用する前に、「設定」の基本ページで［日付時刻］の設定を行ってください。

メモ

- カメラのライブ画面が表示されないときは、以下を参照してください。
  ⇒付属CD-ROM内の取扱説明書　操作・設定編：「故障かな!?」
- カメラへのアクセスを暗号化すること（HTTPS 機能）により、通信の安全性を高めることができます。
  ⇒付属CD-ROM内の取扱説明書　操作・設定編：「HTTPSでカメラにアクセスする」
- 設定メニューにアクセスすると、管理者のユーザー名とパスワードのユーザー認証画面が表示されます。下記の初期設定のユーザー名とパスワードを入力し、ログインしてください。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
- ネットワーク設定の接続モード、IPアドレス、サブネットマスクなどを変更する場合には、手順**3**で「Panasonic IP簡単設定ソフトウェア」の［ネットワーク設定］ボタンをクリックし、各項目を変更してください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります（IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合）。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。
- 複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用録画ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
  http://panasonic.biz/security/support/info.html

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
電源が入らない	●PoE対応の電源供給装置とネットワークケーブルが接続されていますか？ →接続されているか確認してください。 ●複数のPoE端末機器を接続できる電源供給装置によっては、供給できるトータル電力の制限を越えると、電源供給されないものがあります。 →PoE電源供給装置の取扱説明書をお読みください。	21-22
ネットワークケーブルを接続してもLINKランプが橙色に点灯しない	●カメラにEthernetケーブルが正しく接続されていますか？ Ethernetケーブルを正しく接続してください。 ●カメラが接続されているハブまたはルーターが正しく動作していますか？ お使いのハブまたはルーターが正しく動作しているか確認してください。 ●カメラに接続したEthernetケーブルが断線していませんか？ 別のEthernetケーブルと交換してください。	22、24

仕様

●基本

電源※1	PoE（IEEE802.3af準拠）
消費電力※1	PoE 48 V：100 mA（クラス2機器）
使用温度範囲	−10 ℃～+50 ℃※2
使用湿度範囲	10 %～90 %（結露しないこと）
防水性※3	IP66（IEC60529／JIS C 0920） Type 4X (UL50), NEMA 4X準拠
モニター出力 （画角調整用）	VBS：1.0 V [p-p] ／75 Ω、コンポジット信号、 RCAピンジャック NTSCもしくはPAL出力可能（切換スイッチまたはソフトウェアで変更）
寸法	幅 94 mm　高さ 89 mm　奥行き 226 mm
質量	約1.3 kg
仕上げ	本体：アルミダイカスト／樹脂　シルバーメタリック塗装 前面カバーの透明部：ポリカーボネート樹脂

※1 本機の電源に関する情報については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照してください。
※2 常時通電状態で使用の場合（ただし、カメラの内部温度は−10 ℃以上）、設置、起動は−10 ℃以上で行ってください。内部が暖まるまではオートフォーカスおよび電動ズームは起動しません。
※3 取扱説明書に従い設置工事が正しく行われ、かつ適切な防水処理が行われた場合のみ。

●カメラ部

撮像素子	約1/3型MOSセンサー 原色フィルター内蔵
有効画素数	1296 (H) x1032 (V) 約133万画素
走査面積	4.864 mm (H) x 3.891 mm (V)
走査方式	プログレッシブ
最低照度	カラー　0.01 lx（F1.6、最長露光時間：OFF（1/30 s）、AGC：HIGH） 0.0007 lx（F1.6、最長露光時間：最大16/30 s、AGC：HIGH）※ 白黒　0.008 lx（F1.6、最長露光時間：OFF（1/30 s）、AGC：HIGH） 0.0005 lx（F1.6、最長露光時間：最大16/30 s、AGC：HIGH）※ ※換算値
スーパーダイナミック	On（High）／On（Normal）／Off ※60フレームに設定した場合はスーパーダイナミック機能はOffとなります。
ダイナミックレンジ	133 dB typ. (スーパーダイナミックOn時)
顔連動制御	On／Off（スーパーダイナミック On時のみ）
ゲイン（AGC）	On（Low）／On（Mid）／On（High）／Off
暗部補正	On／Off（スーパーダイナミック Off時のみ）

逆光補正（BLC）	On／Off（スーパーダイナミック Off時のみ）
霧補正	On／Off（スーパーダイナミックおよび暗部補正が Off時のみ）
強光補正	On／Off（スーパーダイナミックおよび逆光補正が Off時のみ）
光量制御	屋外撮影／フリッカレス（50 Hz）／フリッカレス （60 Hz）／固定シャッター
シャッター速度	[1.3メガピクセル[16:9](60 fpsモード)時] OFF(1/60)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 [1.3メガピクセル[16:9](60 fpsモード)以外] OFF(1/30)、3/100、3/120、2/100、2/120、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
最長露光時間	最大 1/1000s、最大 1/500s、最大 1/250s、 最大1/120s、最大2/120s、最大1/100s、最大2/100s、 最大 1/60s、最大 1/30s、最大 2/30s、最大 4/30s、 最大 6/30s、最大 10/30s、最大 16/30s
簡易白黒切替	Off/Auto
ホワイトバランス	ATW1／ATW2／AWC
デジタルノイズ リダクション	High／Low
プライバシーゾーン	有効／無効（ゾーン設定　最大8か所）
画面内文字表示	On／Off 最大20文字（アルファベット、カタカナ、数字、記号）
動作検知（VMD）	有効/無効、4エリア設定可能

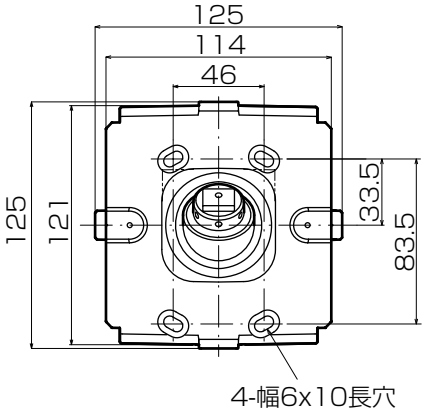
●レンズ部

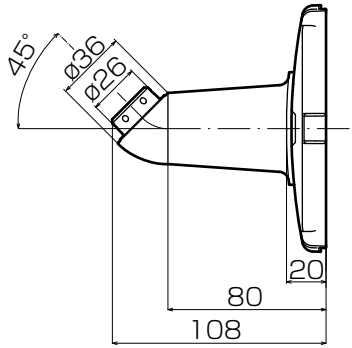
ズーム比	3.6倍　バリフォーカルレンズ 2倍　EX光学ズーム
焦点距離（f）	2.8 mm ～ 10 mm
最大口径比（F）	1：1.6（WIDE）　～　1：4.0（TELE）
画角	[16：9モード時] 水平：28.0°　（TELE）～ 101.8°　（WIDE） 垂直：15.8°　（TELE）～ 55.2°　（WIDE） [4：3モード時] 水平：28.0°　（TELE）～ 101.8°　（WIDE） 垂直：21.0°　（TELE）～ 74.6°　（WIDE）

●カメラ取付台

調整角度	水平（PAN）角 ： ±100° 垂直（TILT）角 ： +30° ～ −90°
寸法	幅 125 mm　高さ 125 mm　奥行き 108 mm
質量	約220 g
仕上げ	アルミダイカスト　シルバーメタリック塗装

＜カメラ取付台寸法図＞（単位：mm）





●ネットワーク部

ネットワーク	10BASE-T／100BASE-TX、RJ-45コネクター
画像解像度 H.264 JPEG（MJPEG）	1.3Mピクセル[16:9]（30 fps モード）／1.3Mピクセル[16:9]（60 fps モード） 1280x720、640x360、320x180、160x90 1.3Mピクセル[4:3]（30 fps モード） 1280x960、800x600、VGA、400x300、QVGA、160x120

画像圧縮方式	H.264※1	画質 (固定ビットレート／ベストエフォート配信)：動き優先／標準／画質優先 (可変ビットレート)：0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質 配信方式：ユニキャスト／マルチキャスト ビットレート： (固定ビットレート／可変ビットレート／フレームレート指定／ベストエフォート配信／アドバンスド可変ビットレート) 64 kbps／128 kbps※／256 kbps※／384 kbps※／512 kbps※／768 kbps※／1024 kbps※／1536 kbps※／2048 kbps※／3072 kbps※／4096 kbps※／6144 kbps※／8192 kbps※／10240 kbps※／12288 kbps※／14336 kbps※／16384 kbps※／20480 kbps※／24576 kbps※／30720 kbps※／40960 kbps※ ※H.264ビットレートは、「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。 (フレームレート指定) 1 fps／3 fps／5 fps※／7.5 fps※／10 fps※／12 fps※／15 fps※／20 fps※／30 fps※／60 fps※ ※「フレームレート※」は、「1クライアントあたりのビットレート※」に制限されます。「※」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
	JPEG (MJPEG)	画質選択：0最高画質／1高画質／2／3／4／5標準／6／7／8／9低画質 (0～9の10段階)
画像更新速度	0.1 fps～60 fps（JPEGとH.264同時動作時のJPEGフレームレートは制限あり）	
クロッピング機能	Off/JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)/H.264(1)/H.264(2)/H.264(3)/H.264(4)/H.264(all) アラーム連動クロッピング　On/Off	
配信量制御	制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps／8192 kbps	
対応プロトコル	IPv6：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、FTP、SMTP、DNS、NTP、SNMP、DHCPv6、RTP、MLD、ICMP、ARP IPv4：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、RTSP、RTP、RTP／RTCP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、DDNS、NTP、SNMP、UPnP、IGMP、ICMP、ARP	

対応OS ※2	Microsoft Windows 8.1日本語版 Microsoft Windows 8 日本語版 Microsoft Windows 7 日本語版 Microsoft Windows Vista 日本語版
対応ブラウザー ※2	Windows Internet Explorer 11 32ビット日本語版 Windows Internet Explorer 10 32ビット 日本語版 Windows Internet Explorer 9 32ビット日本語版 Windows Internet Explorer 8 32ビット日本語版 Windows Internet Explorer 7 32ビット日本語版
最大接続数	14（カメラへ同時接続できるセッション数） ※条件による
FTP クライアント	アラーム画像送信、FTP 定期送信
マルチスクリーン	同時に16台のカメラの画像を表示（自カメラ含む）
携帯電話対応	NTTドコモ、au（KDDI）、SoftBank JPEG画像表示、AUX制御（アクセスレベルによる）
携帯端末対応 （2014年8月現在） ※3	iPad、iPhone、iPod touch（iOS 4.2.1以降）、Android™端末

※1　独立に4ストリーム分の配信設定が可能です。

※2　Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista または、Windows Internet Explorerを使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROMのメニューより「取扱説明書」の「参照」をクリックし、「Windows®／Internet Explorer®のバージョンによる注意事項」をお読みください。

※3　対応機種など詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照してください。

●別売り

H.264 ユーザーライセンス	BB-HCA8
イーサネット送電アダプター	BB-HPE2
カメラ取付金具	WV-Q120A

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話	（　　）	－	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（☞37ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名　ネットワークカメラ

●品　番　WV-SPW310

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**

部品代　**部品および補助材料代**

出張料　**技術者を派遣する費用**

※補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、１年に１回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
●本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ●本機および取付部に破損や著しいさびがある。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
●煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ●電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ●製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ●電源を入れても、映像や音※が出てこない。 ●その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

メモ

メモ

メモ

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ **使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。**

■ **その他ご不明な点は下記へご相談ください。**

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分
（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014

PGQX1658ZA
sC0914-0
Printed in China